

初期臨床研修医募集案内 臨床研修プログラム

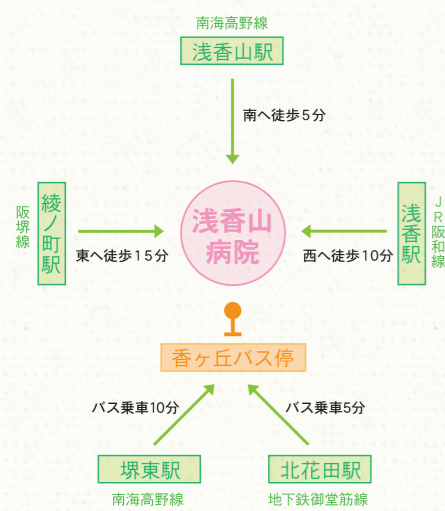


RESIDENT GUIDE BOOK
Asakayama General Hospital
Medical trainee Recruit Clinical Training Program

浅香山病院へ
ようこそ。



交通機関のご案内



アクセスマップ



日本医療機能評価機構認定病院
基幹型臨床研修指定病院
公益財団法人
総合病院

浅香山病院

〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号
TEL:(072) 229-4882
<http://www.asakayama.or.jp>



日本医療機能評価機構認定病院
基幹型臨床研修指定病院
公益財団法人
総合病院

浅香山病院

メッセージ



総院長
太田 勝康

公益財団法人浅香山病院は大正11年（約100年前）に開設、病院は堺市の最北部に位置し、すぐ横を流れる大和川を渡れば大阪市に入ります。24診療科

を標榜し、1027床もの病床を有し、超急性期から緩和ケア医療までをカバーする、本邦でもユニークなケアミックス型の大規模総合病院です。病床の内訳は一般科（精神科以外の身体科の総称）223床、精神科804床です。内科救急指定病院としても年間約2,500件の救急搬送患者を受け入れています。

臨床研修については、一学年の研修医の人数が2～4名（協力型含む）と少ない割に常勤医や各専門分野の指導医の数は70名以上と多く在籍しており、マンツーマン体制の下で専門的知識・技術・診療能力をハイスピードかつ濃厚に習得することで、充実した研修生活を送ることができたとの感想もいただいています。ぜひ一度、病院見学にお越しいただき、当院の魅力を肌で感じてください。



臨床研究研修センター長
篠崎 和弘

浅香山病院は、身体とメンタルを共に診察できる初期研修医師の育成をめざしています。救急医療、急性期医療から慢性期、終

末期までの一貫した医療を、身体科と精神科の両方で学ぶことができます。それを可能にしているのが内科・外科・精神科をはじめとする計24診療科の約110名の医師たちです。基幹型施設として毎年2名受け入れ、2019年度で15年目になります。2017年には臨床研究研修センターを開設し、研修レポート作成や学会発表の支援などを行なっています。見学は随時可能です。ご連絡をお待ちしています。



一般科院長
田原 旭

当院では身体疾患、精神疾患を問わず幅広いプライマリ・ケアに対応しうる臨床能力の習得を目指し、実践主義を第一とした研修体制をしいています。

研修医の皆さんには多くの専門医の指導のもと、救急医療を含めた第一線の臨床現場で、診察・治療・検査(心カテ、エコー、内視鏡検査など)に担当医として参画し、熱い汗、冷たい汗を問わず、多くの汗をかいていただきます。そして実践医療の中で目の前の患者さまの何が異常で、何が危険であるかを判断し、命をつなぐためのプライマリ・ケアができる臨床医を目指していただきます。多くの指導医が皆さんをサポートします。心熱き研修医の皆さんを待っています。



精神科院長
谷口 典男

精神科での研修では、救急・急性期医療、慢性期・療養医療、認知症医療、身体合併症医療、社会復帰事業について幅広く学ぶことができます。また将来、精神科専攻

を希望される場合には、日本専門医機構の精神神経学会精神科専門医ならびに精神保健指定医の資格取得に向けて、指導医がマンツーマンで指導をする体制をとっております。このように、当院は、精神科領域に関する全てのジャンルを一つの病院で学ぶことができる数少ない教育病院と自負しておりますので、皆さまの応募を心からお待ちしております。

なお、見学を希望されるときには、前もってご連絡をいただければ事務局で日程調整をさせていただきます。

総合医療ゾーン
メディカルタワー

精神科医療ゾーン



公益財団法人
浅香山病院

初期臨床研修プログラム

精神科疾患にも対応する急性期総合病院で、
身体・精神両面でのプライマリ・ケア研修を！

理念

健康と幸せを追求し、信頼される医師をめざす。

基本方針

医師として必要な基本姿勢・態度を身に付ける。

患者・家族との良好な人間関係の確立、チーム医療としての協調性、実践医療で基本的知識と手技、医学的な問題対応能力を身に付ける。

研修のポイント

当院は約100年の歴史をもつ24診療科からなる堺市中心部の急性期総合病院です。内科、救急、外科、整形外科、放射線科、皮膚科、麻酔科、精神科など、多くの専門医のもとで「こころ」と「からだ」の幅広いプライマリ・ケアを習得することができます。

1. 実践的プライマリ・ケア

初年度の研修は内科・救急から始まります。肺炎、心不全、ショック、消化管出血、薬物中毒など市中病院で出くわす様々なcommon diseaseの診断、検査、治療に担当医として加わり、**実践的なプライマリ・ケア**を研修できます。

2. 精神科患者の身体合併症治療

当院は西日本最大規模の精神病床を有し、**精神科合併症治療**にも対応しています。合併症病棟では悪性症候群、水中毒、薬物中毒など、他院では決して経験することのできない精神科患者の身体合併症治療にもかかわることができます。

3. 少人数環境、豊富な実技

当院の基幹型研修医の数は1学年2名です。大阪市立大学の協力型研修医を含めても1学年4名までという**少人数の研修環境**で、専門医、指導医のもと様々な症例、手技を経験できます。

4. 自由度の高い研修プログラム

必修科目以外は、当院の選択科目の中から自由に選択できます。研修をすすめていく中で、自分の適性と可能性に応じて**研修内容を柔軟に選択**することが可能です。

初期臨床研修プログラム

初期臨床研修の目的は、将来の専攻に関わらず、患者さまを全人的に診療する基礎を習得することです。当院の研修プログラムでは、その目的を十分に達成するように配慮しています。

● 研修プログラム例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	必修									選択	必修+選択	
	内科(消化器・呼吸器・循環器・腎臓)						救急(麻酔科4週以内含む)			麻酔科	外科	
2年次	必修+選択		必修				選択					
	精神科		地域医療	産婦人科	小児科		皮膚科	整形外科	泌尿器科	放射線科	内科	

必修科目〈14.5月〉

内科(6月)・救急(麻酔科4週以内含む)(3月)・外科(1月)・精神科(1月)・地域医療(1月)・産婦人科(4週)・小児科(6週)

すべての診療の基礎となる、必ず研修する科目です。
*地域医療は近隣の診療所、産婦人科・小児科は堺市立総合医療センターでの研修となります。

選択科目〈9.5月〉

内科・外科・精神科・麻酔科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・放射線科

必修科目以外の期間を、当院の8診療科から選択します。
興味のある科の必修・選択期間を組み合わせじっくり研修したい、多くの科を研修し色々な経験をしたいなど、一人ひとりの希望を元に検討し研修プログラムを組んでいきます。

指導医より

浅香山病院での臨床研修の魅力と特色

病棟の研修指導以外にも、内科での毎週の研修医ミーティング、症例発表、研修予定の調整、研修レポート作成の指導を担当しています。実際は1年目を通して、2年目後半に関ることが多いと思います。地域医療に貢献しつつ高い診断能力と治療経験を身に付けたい方、救急医療の実践を積んで度胸をつけたい方、循環動態を保つ方法を学びたい方、内視鏡やカテーテル操作をやりたいと思っている方、精神科に興味がありその上で基本を身につける研修を希望される方々は当院をお勧めします。もちろん、外科系を希望される方も大歓迎です。医局は一カ所に集中しているため、各科の医師と気軽に相談できるよい雰囲気です。当院で卒後研修を受けた後、常勤、非常勤として働くドクターも多数います。ぜひ一度、病院見学にお越しください。お待ちしております。



内科統括部長
プログラム責任者

大村 崇



公益財団法人
浅香山病院

研修診療科紹介

研修特徴と魅力

内科



内科研修では救急医療での幅広いプライマリ・ケア研修に加え、循環器、消化器、呼吸器、腎臓など各専門内科の指導医のもと、高度な専門医療に担当医として加わっていただきます。

コメディカルを含め、各専門内科の密接な連携の中、総合的視野でのチーム医療を進める環境が当院には整っています。定期的に行われる他科との合同カンファレンスでは内科以外の多岐にわたる知識を習得することが可能です。

また、2015年には一般科新病院がオープンし、最新の医療環境の中で、診断、処置、治療の実践を研修出来るようになりました。

みなさん、新しくなった浅香山病院で私たちと共に学んでみませんか。



精神科



精神疾患が、2013年度からの医療政策の中で、5疾病に加わり、身体疾患の診療の基礎としても、精神疾患は見逃すことができない時代になっております。その中で、従来の精神疾患以外に新たに、発達障害、パーソナリティ障害なども治療の対象として注目されるようになってきております。このような状況の中で、さまざまな精神疾患にも十分に対応ができる力を身につけていただける研修となるように配慮しております。

整形外科

スタッフは整形外科歴20年以上の常勤医2名に、若い非常勤医が2名(大阪市立大学整形外科大学院等より)在籍しています。

主に外傷骨折の手術を行っており、一般の外来患者さま以外にも大阪近隣の精神科患者の骨折手術も依頼されて実施しており、研修医にも積極的にメスを持ってもらっています。



外科



当院は外科学会認定施設で、消化器外科、内視鏡外科を中心に年間約450例の手術を行っています。外科学会、消化器外科の指導医は1名で、専門医はそれぞれ4名、内視鏡外科の技術認定医は1名在籍しています。当院では内視鏡下手術のビデオをサーバーに保存し、医局で振り返りやカンファレンスを行い、技術向上に努めています。内視鏡下手術の修得を希望する仲間と一緒に研鑽していきたいと願っています。



麻酔科

麻酔科は現在、日本麻酔科学会専門医2名が常勤医として手術室での麻酔業務を行っています。

麻酔科研修は1~2か月という短い期間のため、気管内挿管に関しても、喉頭展開が容易に観察できる最新のデバイス(ビデオ喉頭鏡)を用いて研修を行います。また、医師としての基礎知識として重要な、呼吸・循環管理、輸液管理、薬剤の効果・使用方法を日々の症例の中で指導いたします。

基礎的な知識とともに、技術を身につけてもらうことを目標としています。

皮膚科

アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹などのアレルギー疾患をはじめ、皮膚腫瘍、熱傷などの手術も行っています。内科的疾患から外科的処置、手術に至るまで幅広い診療、治療が出来る科です。少しでも興味のある方は是非一緒に勉強しましょう。



泌尿器科



泌尿器科の研修特徴、魅力として、尿路、男性生殖器の腫瘍、炎症、結石、機能障害などの診断から治療、その経過観察まで一貫して行うこと、すなわち内科的知識から外科的側面の両者を、しっかりと学んでいただきます。

救命救急 CLOSE UP

当院の救急センターは内科系ERとして年間約2500件の救急搬送受入れと、約1500件の時間外救急患者の診察にあたっています。研修医は9ヶ月の内科、救急研修の中で指導医と共に救急患者の初期診断、初期治療、トリアージにあたり、救急対応のハウツーを研修します。



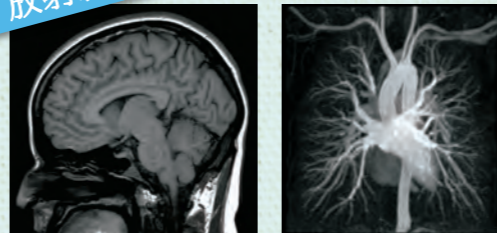
当院にはさまざまな診療科があり、それぞれ特色を持った専門的な医療を行っています。しかし、救急では自分の専門分野の患者さまだけが、搬送されてくるというわけではありません。救急医療の場では、いかに広く視野を持って病態把握に努め、いかに素早く初期対応を行うかが重要となります。

当院では内科救急を中心とし、臨床研修医は指導医と共に救急患者さんに接し、診察し、鑑別診断し、検査し、処置・対応を行っています。初めは全く何一つ出来ずに不安を覚えたり、つらいこともあるかと思いますが、臨床研修医は上級医師指導のもと、数多くの症例に向き合っていくことで少しずつ、しかし確実に医師としてさまざまな疾患に対応できる臨床応用力や手技を身につけていくことが出来ると思います。



情報誌「Ferie(フェリエ)」掲載

放射線科



当院には320列CT、1.5T MRIを始め、RI診断装置、血管造影装置等、最新鋭の画像診断機器が設置されており、PACSIにて画像診断業務や、インターベンションによる治療も行っております。過去、当院にて研修された医師の皆さんのうち、期間中、1-2ヶ月ほど放射線科の研修をされた方も多く、特に救急疾患に対しての画像診断を中心に教育をさせていただいております。

将来、放射線科医を目指す方でもなくとも、「明日から役立つ画像診断」を勉強したいとお考えでしたら当院当科への研修をお勧めします。



地域医療



当プログラムは、訪問診療と地域の診療所での研修をおこないます。両研修とも、ますます高齢化する地域における医療ニーズの認識、在宅医療時の医療資源の使い方、また、日常診療で頻繁に遭遇する疾病に対応できるように、技術・知識・態度を研修していきます。研修医の皆さんをお待ちしています。

小児科

問診、診察およびその評価の中で小児科疾患を疑うために必要な基礎的知識・技能を修得します。具体的に、病棟担当医として入院患者の診療を経験し、その中で診療技能を指導医のもとで自ら実施をしていただきます。

(協力病院 堺市立総合医療センター)

産婦人科

妊娠・分娩の経過を観察し、正常な妊娠・分娩およびその過程で発生する合併症の生理・病態を理解し、胎児および新生児への影響、及びその治療法を理解します。具体的に、午前・外来にて診察を見学。午後は、病棟で婦人科患者について主治医のもとで研修します。また、産科手術・婦人科手術にも立ち会ってもらいます。

(協力病院 堺市立総合医療センター)

公益財団法人
浅香山病院

医療施設・設備・検査機器

●検査機器・設備



救急センター



手術室前室



手術室



1.5T磁気共鳴断層撮影装置(MRI)



マルチスライスCT装置(320列)



HCU



核医学診断装置(RI)



X線透視撮影装置



リハビリテーション室



X線血管撮影装置



内視鏡センター



人工透析センター

●院内風景



浅香山病院で活躍するDr.たち

メディアにも多数
掲載されています!



臨床研修修了医より

二次救急受入で
度胸が養われます!

2019年修了
東京医科大学卒業
堀井 彩希



2019年修了
大阪市立大学卒業
佐竹 應登



2年間の初期研修を終え、浅香山病院での研修を選択して本当に良かったと実感しています。

初期研修では様々な科をローテートしますが、当院は全員内科から始まります。内科は医療の基本であり、週3回の救急診療を担うことで医師として急成長できた期間であったと思います。同期が少数のため、内視鏡検査や胸水穿刺、腹水穿刺、CVカテーテル挿入など様々な手技や多様な症例を経験することが出来ます。また、当院は診療科の垣根が低く、内科研修中であっても他科に対診した際は他科の先生が詳しく説明してくださり、時には手術に参加させて頂いたり、早期から多くの経験を積むことができました。9か月の内科研修期間の後は、必修・選択科目を組み合わせて個々にプログラムを作成します。ここでも指導医と相談のうえ、将来進む科については早めに研修できたり、研修期間を延長することもできます。このような柔軟な研修制度のおかげで進路に後悔することもなく満足した初期研修ができました。

当院は地域に密着して医療を行っており、とても稀な疾患などはなかなか経験することができないのは事実です。しかし、いわゆるcommon diseaseを経験したことがない者に稀な疾患は診断できません。また、何科に進んでも出会うであろう疾患を経験できることは大きなメリットになると考えます。

たくさんの研修病院がある中で選択する事は大変でしたが、この病院で初期研修ができたことを誇りに思います。病院も数年前に建て替えられたばかりでとても綺麗で快適ですので、ぜひ一度見学にお越しください。

1年次の研修は主に内科、救急を全般的に診ます。内科では他の診療科との仕切りがなく様々な疾患の患者様を診ることが出来ます。指導医や上級医の先生と一緒に診るため、診察や処置、治療方針を話し合う機会がとても多く勉強になります。救急では内科研修期間中は毎日、半日の救急当番があり、上級医の先生と一緒にウォークインから救急搬送までの対応をします。上級医の先生との距離感が近く、小さなことでも相談がしやすい環境です。またコメディカルのスタッフにも優しく助言をしていたり、垣根のない所も良いところだと思います。

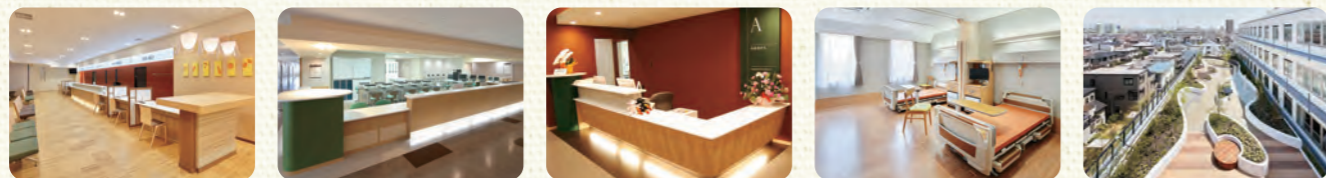
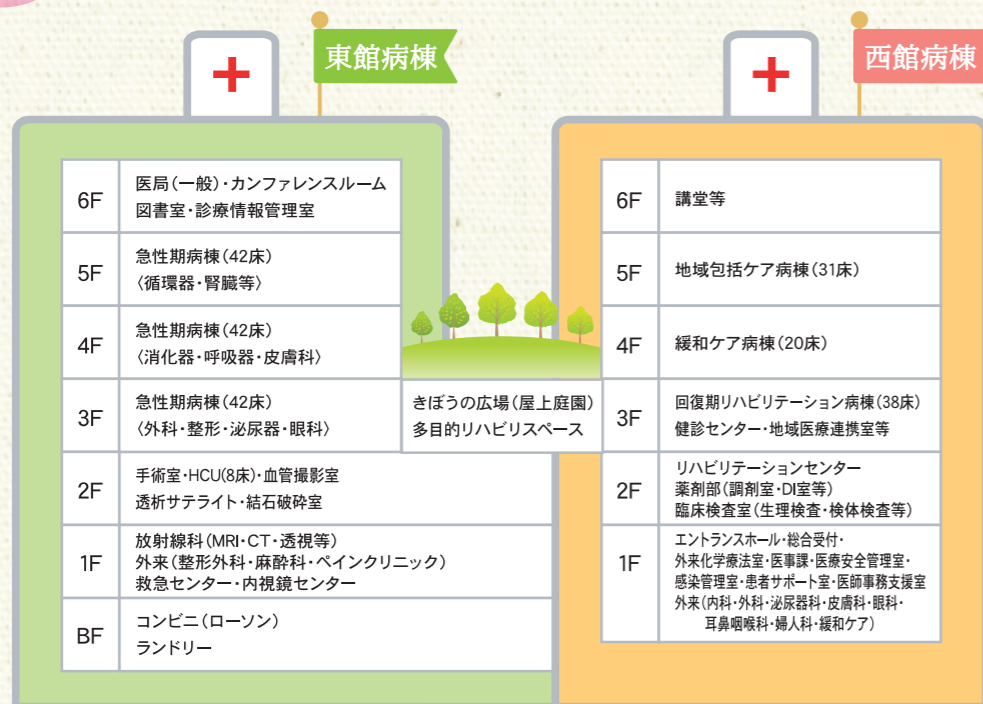
当直では、1年目は診察を見学し、時には指導の下診察をすることもあります。2年目になると下に1年目研修医がついて、ほとんどの患者様をファーストタッチし、自身で多くの症例を経験できます。その中で難しい症例であれば上級医の先生に相談しながら患者様を診ることで、コンサルトの仕方や重症度の判断を体験することができ、各疾患のイメージが身についていく実感を日々得られ、とても勉強になります。

浅香山病院での2年間の研修は、上級医の先生方やコメディカルのスタッフの方々がとても優しく指導してくださる点が一番で、働きやすく楽しく研修生活を送ることができたと思っています。皆様もぜひ浅香山病院で研修をしてみませんか。

柔軟なプログラムで、
進路が決まっていない
研修医にもオススメ!

院内構造

総合医療ゾーン



精神科医療ゾーン



病院見学について《申込先及び問合せ先》

病院見学は随時受け付けておりますので、氏名、大学名、第1希望日～第3希望日をご記入の上、直近希望日の10日前までに、下記メールアドレスへお申し込みください。

E-mail: asaka@asakayama.or.jp

〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

公益財団法人 浅香山病院 経営企画室迄

TEL: 072-229-4882

病院概要

病床数	1,027床(一般病床223床:精神病床804床)																		
診療科目	内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科・緩和ケア内科・外科・消化器外科・内視鏡外科・整形外科・リハビリテーション科・泌尿器科(人工透析)・皮膚科・放射線科・麻酔科(ペインクリニック)・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・神経内科・心療内科・精神科・歯科																		
学会認定	<table border="0"> <tr> <td>日本内科学会教育関連病院</td> <td>日本整形外科学会研修施設</td> </tr> <tr> <td>日本循環器病学会専門医研修施設</td> <td>日本泌尿器科学会専門医教育施設</td> </tr> <tr> <td>日本高血圧学会専門医認定施設</td> <td>日本麻酔科認定病院</td> </tr> <tr> <td>日本消化器病学会認定施設</td> <td>日本皮膚科学会認定専門医研修施設</td> </tr> <tr> <td>日本消化器内視鏡学会指導施設</td> <td>日本透析医学会教育関連施設</td> </tr> <tr> <td>日本呼吸器学会認定施設</td> <td>日本精神神経学会研修施設</td> </tr> <tr> <td>日本呼吸器内視鏡学会認定施設</td> <td>日本老年精神医学会認定施設</td> </tr> <tr> <td>日本感染症学会研修施設</td> <td>日本認知症学会教育施設</td> </tr> <tr> <td>日本外科学会外科専門医制度修練施設</td> <td>日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設</td> </tr> </table>	日本内科学会教育関連病院	日本整形外科学会研修施設	日本循環器病学会専門医研修施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設	日本高血圧学会専門医認定施設	日本麻酔科認定病院	日本消化器病学会認定施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本消化器内視鏡学会指導施設	日本透析医学会教育関連施設	日本呼吸器学会認定施設	日本精神神経学会研修施設	日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本老年精神医学会認定施設	日本感染症学会研修施設	日本認知症学会教育施設	日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
日本内科学会教育関連病院	日本整形外科学会研修施設																		
日本循環器病学会専門医研修施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設																		
日本高血圧学会専門医認定施設	日本麻酔科認定病院																		
日本消化器病学会認定施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設																		
日本消化器内視鏡学会指導施設	日本透析医学会教育関連施設																		
日本呼吸器学会認定施設	日本精神神経学会研修施設																		
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本老年精神医学会認定施設																		
日本感染症学会研修施設	日本認知症学会教育施設																		
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設																		
実績(2018年度)	救急車搬送患者数2,426件/年 時間外診察患者数(ウォークイン) 1,539件/年 内科: PCI、インターベンション治療104件 心臓カテーテル検査137件 全上部消化管内視鏡検査/手術2,156件 全下部消化管内視鏡検査/手術1,130件 外科: 手術実績444件(悪性腫瘍手術、腹腔鏡下・胸腔鏡下手術、肝切除等含) 泌尿器科: 手術実績77件 整形外科: 手術実績109件 皮膚科: 手術実績57件																		
従業員数	1,222名(2019年4月現在)																		

身分・待遇

身分	研修医(常勤職員として)
募集定員	2名
給与	基本給 1年次: 320,000円/月、2年次: 340,000円/月 ※その他当直手当・土日直手当・通勤手当・時間外等あり
休暇	有給休暇 1年次: 14日、2年次: 11日(1年次有休残数に加算) その他休暇 リフレッシュ休暇(6日)、創立記念日休暇(1日)、誕生日休暇(1日)等
各種保険	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・共済会制度
福利厚生	職員寮(月額28,000円 共益費含む)、 保養所、院内保育施設、定期健診(年2回)



職員寮



院内保育園



保養所